

逗子市池子接收地返還促進市民協議会

令和7年度第3回役員会会議録

日 時	2025年(令和7年)12月8日(月) 18:10~19:10
場 所	市役所5階 第2会議室
出席委員	匂坂会長、山口副会長、石井(伸)委員、齋藤(由)委員、石井(達)委員、渡辺委員、山上委員、石委員、松岡委員、高津委員、石原委員、菊池委員、清水委員、小野委員、齋藤(直)委員、高安委員、矢野委員 (オンライン出席者) 角田委員、内田委員、藤澤委員
事務局	仁科経営企画部長、米山経営企画部次長(秘書・基地対策担当)、山本基地対策課副主幹、増田基地対策課主事、基地対策課 城崎
傍聴者	なし
議 題	1 令和7年度国への要請活動について 2 令和7年度研修会の報告について 3 令和8年度研修会について 4 その他
配付資料	会議次第 資料①-1 令和7年度「池子接收地(池子住宅地区及び海軍補助施設)の返還に関する要請書」(案) 資料①-2 令和7年度「池子接收地(池子住宅地区及び海軍補助施設)の返還に関する要請書」(案)【見え消し版】 資料② 令和7年度市民向け研修会「池子の森を知ろう」開催状況報告 資料③-1 「池子の森を知ろう」お話しアンケート 集計結果 資料③-2 「池子の森を知ろう」クイズラリーアンケート 集計結果 資料④ 令和8年度市民向け研修会開催経費 予算支出額(案) 資料⑤ 逗子市池子接收地返還促進市民協議会役員名簿

開 会

事務局：皆様お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので只今から令和7年度逗子市池子接收地返還促進市民協議会第3回役員会を開催させていただきます。

本日は3名の方がオンラインでの出席ですので全部で20名の委員の出席をいただいております。半数以上の委員が出席をされていらっしゃいますので、会則第10条第2項によりまして本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

本日は角田委員、内田委員、藤澤委員がオンラインでの参加となっておりますので、ご発言がある際には、挙手ボタンを押してお知らせいただければと思います。

次に、配付資料の確認をさせていただきます。(確認後)以上ですが、配付漏れはございませんでしょうか。

それでは、以降の進行につきましては、匂坂会長にお願いいたします。

会 長： 皆様こんばんは。本日はお忙しい中、逗子市池子接收地返還促進市民協議会の令和7年度第3回役員会にご出席をいただきありがとうございます。

本日は、例年当協議会で実施しております国等への要請活動について、要請案のご審議をいただくほか、11月15日に開催いたしました市民向け研修会について報告し、また来年度の研修会の開催についてご意見をいただきたいと思います。

それでは議題に入る前に、前回10月14日に開催いたしました第2回役員会以降の報告について、事務局からお願いします。

事務局： 唯一ございますのが11月15日、皆様方にご協力をいただきまして実現をしました「池子の森を知ろう」のイベントの開催ということになります。詳細については、後ほど議題として報告をさせていただきます。以上です。

会 長： それでは議事に移ります。議題1「令和7年度国への要請活動について」を議題といたします。事務局お願いします。

事務局： これから実施を予定しております、国への要請活動における要請書（案）についてご説明いたします。資料①-1、①-2 令和7年度「池子接收地(池子住宅地区及び海軍補助施設)の返還に関する要請書（案）」をご覧ください。資料①-1、①-2とございますが、①-2の見え消し版を基にご説明をさせていただきます。

まず冒頭ですが、時候の挨拶を修正いたしました。次に「1996年（平成8年）の米軍家族住宅入居開始から28年が経過し」を「29年が経過し」に時点修正しております。また全体を通しまして、「逗子市」と「本市」という形で表記が統一されていませんでしたので、上から3行目「逗子市」の後を、全て「本市」という表記に統一いたしました。

裏面になりますけれども、要請事項8につきまして、前年度から修正をしております。2022年（令和4年）7月に発生しました米軍人による傷害事件の裁判は昨年度終結しまして、現在順調に損害賠償手続きが進んでおりますことから、傷害事件については言及しつつも、「このような事件が二度と起こらないよう、逗子海水浴場を利用する際のルールおよび注意事項について、米軍関係者に対して周知を徹底すること。」と修正しております。要請書案につきましては以上です。皆様にご意見をいただければと思います。

会 長： それでは要請書（案）に対するご意見等ありましたらお願いします。

事務局： 全体としては、2年前に一度全て整理をしてこの形になっております。何か大きく動くところがあれば変えていくということで考えておりますけれども、全体的にはそれほど変えておりません。唯一8番は、昨年見え消し版のところを見ていただくと「米軍関係者の来場を自粛させること」という部分が、要請という形にはなっておりましたけれども、昨年と一昨年はかなり米軍に強く対応を求める形になっておりまし

た。事件は昨年度終結し、損害賠償の手続きに入っていると聞いております。昨年の夏に続き、この夏も特に米軍に目立った違反などは見受けられませんでしたので、基本的には3年前に戻るような要請内容としております。ただ、事件のことは忘れてはいけないという趣旨で修正をしております。

会 長： 他にご意見等ございませんか。ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

次に事務局から要請活動の今後のスケジュールについて説明をお願いします。

事務局： まず、要請活動につきましては、横浜にあります南関東防衛局におきまして、本日も審議いただきました要請書を手交します。この要請活動の日程につきましては、1月下旬から2月上旬に実施する方向で、現在南関東防衛局と調整中です。当日の動きとしましては、今年度は逗子を午前9時頃出発いたしまして、南関東防衛局のある馬車道まで電車で向かいます。そして南関東防衛局にて要請活動を行い、現地解散とさせていただきます。今年度は市民向けイベントの開催経費に、要請活動のためのマイクロバスの借り上げ料を充てたことから電車を利用いたしますが、参加される委員の交通費につきましては、予算からお支払いいたします。日程等の詳細が決まりましたら、出欠の確認も含めましてご連絡させていただきます。以上です。

会 長： 詳細が決まりましたら改めてお知らせするとのことですが、現時点で何かご質問等がございますか。よろしいでしょうか。それでは議題1につきましては、これで終了といたします。

続きまして議題2「令和7年度研修会の報告について」を議題といたします。事務局から報告をお願いします。

事務局： 11月15日に開催しました市民向け研修会についてご報告いたします。資料② 令和7年度市民向け研修会「池子の森を知ろう」開催状況報告をご覧ください。まず1「池子の森を知ろう」をテーマとして開催いたしました。2 目的は、こちらに書いてあります通り、昨年度進入路が返還されましたので、この機会に池子の森の歴史と自然について、より多くの市民、特に若い世代に関心を持ってもらう、また住宅地区や海軍補助施設のある市の今後を共に考えてもらう機運を醸成することといたしました。3 主催につきましては、逗子市池子接収地返還促進市民協議会と逗子市となっておりますが、逗子市PTA連絡協議会様、逗子市商工会様、逗子ロータリークラブ様からご協力をいただきました。5 各イベントの実施状況についてご報告いたします。まず一つ目、(1)お話し会です。11月15日土曜日、午前10時から正午まで行いました。場所は体験学習施設のスマイルです。内容の一つ目は、歴史のお話ということで両角篤さん。二つ目は自然のお話ということで、山浦安曇さんから講義をいただきました。参加者数は48人、うち小学生が6人、中学生が3人となっております。当日のスタッ

フとしまして、こちらに記載のある市民協の委員の皆様、また、各団体からのご協力といたしまして、逗子市PTA連絡協議会からご参加いただきました。

裏面に移りまして、(2)クイズラリーについてです。同日(11月15日土曜日)の午前10時から午後3時まで開催いたしました。場所は池子の森自然公園の緑地エリアです。内容としましては、歴史や自然に関するクイズのポイント計4箇所を回り、ゴールで参加賞の缶バッジとシールをお渡しするというものです。95人の方にご参加いただきました。主に未就学児や小学生とその親御さんという形の家族連れの方に多くご参加いただきました。当日のスタッフはこちらに記載のある委員の皆様、また、各団体からのご協力、それから自然のクイズのポイントに、池子の森自然公園の自然調査会の方にご協力をいただきました。

(3)パネル展示につきましては、期間は11月5日水曜日から14日金曜日の土日を除いた8日間。時間は午前9時から午後5時まで、場所は市役所1階の市民ホールで開催いたしました。内容としましては、池子の森の歴史と自然をテーマにしたパネル展示でございました。来場者数は1日当たり約50人、延べ400人の方にお越しいただきました。開催期間中はスタッフ1名に立ち会っていただきましたが、こちらに記載のある委員の皆様にご協力をいただきました。

続きましてアンケート集計結果といたしまして、資料③-1をご覧ください。こちらはお話会に関するアンケートの集計結果です。参加者数48人に対しまして回答数が38人ということで、約80%の回収率でした。こちらにあるとおり2の年齢について、グラフを見ていただくとおわかりいただけるかと思いますが、60代以上の方が半数近くを占めている形です。3のお住まいの地域は、久木と池子からのご参加の方が多い結果となりました。裏面に移りまして、5の参加のきっかけについて、イベントを知ったきっかけはという質問でしたが、一番多かったのは広報ずしでした。グラフでは一番下の部分です。こちらには載せていませんが、確認しましたところ、だいたい50歳以上の方が広報ずしをご覧になって、逆に言うと40歳以下の方では広報ずしを見て参加した方はいっしょらなかったということです。学校で配布されたチラシは4名でした。市内の全ての小・中学校の児童・生徒全員に配りましたけれども、ちょっと効果が薄い結果だったかなと思っております。続いて3ページ以降、これは満足度について聞いておりますが、概ね皆様ご満足いただいている結果となりました。4ページ、池子の森の歴史について知っていましたかという質問につきましては、ある程度知っていたという方が7割近くでしたが、その一方で、あまり知らなかったという方が26%いっしょいましたので、こういった方にお話会に来ていただけてよかったと考えております。続きまして5、6ページには、アンケートの中の自由記載のご意見・ご感想を載せておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

続きまして、資料③-2です。こちらはクイズラリーに関するアンケートの集計結果でございます。参加者95人に対しまして回答数34人、回収率が約35%でした。ご家族連れでご参加の方が多く、未就学児のお子さんがいらっしやったり、ご家族の中でご夫婦のどちらかが回答したケースもありまして、回収率はこのような数字になっております。年齢を見ますと、一番多いのが小学校1～3年生で、具体的には小学校の1、3、4、6年生と、30代、40代ということで、小学生とその親世代のご参加が多かったのではないかと受け止めております。お住まいの地域は、一番多かったのが久木で、次いで逗子という結果になっております。イベントを知ったきっかけは、知人から聞いてというものが一番多かったです。お友達のご家族同士で来ていた方も多くいらっしやったので、そういった結果が出ているのかなと思います。また学校で配布されたチラシが9人ということですので、クイズラリーの方は効果があったのかなと考えております。3ページ以降は、こちらにも満足度について聞いておりますが、概ね皆様にご満足いただけた結果となっているのではないかなと受け止めております。4ページ目の池子の森の歴史について知っていましたかという質問につきましては、あまり知らなかった、全く知らなかったという方が54%いらっしやいましたので、今回のイベントの目的である、若い世代の方に池子の森に関心を持っていただきたいという目的には、一定の効果があったのではないかなと受け止めております。それから12の池子の森自然公園を利用していますかという質問で、今回初めてという方が7名いまして、このイベントをきっかけに来ていただけてよかったと思っております。5ページ目、お話会と同様に自由記載のご意見・ご感想となっておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

事務局からの報告は以上ですが、今回のイベントにご協力いただいた委員の方で、補足等がありましたらお願いいたします。

会長： 参加人数も多くて、本当にいい事業だったと私も思います。やはり検討部会リーダーの石井(達)さんから、感想も踏まえて一言いただきたいと思います。

石井(達)委員： 15日のイベントを実施して手応えを感じました。やってよかったなという感じですね。お話会もパネル展示も、池子の森のクイズラリーも現場に行ってみりました。天気に恵まれたこともあり非常に良かった。当初お話会については、参加希望者が10人程度という話を聞いて、どうなるのだろうかと思ったのですが、みんなで力を合わせて、会場のスマイルで立ち見まで出る状況になりましたので満足しております。私はお話会の担当でありまして、歴史の話は両角先生、自然の話は山浦さん、二つともよかったと思います。

両角先生のお話を聞いて、やはり逗子の成り立ちとして、軍との関係、これが非常に深かったということに再認識しました。一つは戦前に、横須賀等々の上級将校が

逗子、鎌倉に住んでいたということ。それから戦争のさなかには、工場要員として動員された人の宿舎が逗子のいろんな所にありましたし、今の逗子警察署も軍の施設でした。いろいろ軍とのゆかりが深かったということのを再認識しました。

自然の話は、山浦さんの熱演もありまして、とても楽しかった。かなり周到な準備をされたのだろうと思いました。歴史の話は小学校低学年には少し難しかったかもしれませんが、自然の話は、低学年と思われる子どもたちが目を輝かせて、手を挙げていろいろ質問したりしていて、非常に手応えを感じた次第です。

パネル展示も、半日だけお手伝いしましたが、割と良い内容の展示ができていたように思います。ただやはり年輩の人たちが熱心で、興味を持っている人たちの中には、以前、市民活動に関わった人たちがいたのかなと、そんな感じがしました。

池子の森自然公園のクイズラリーも、天気恵まれ非常に気持ちのいい日でした。池子には、軍に関わった歴史があるのと同時に素晴らしい自然環境があります。山浦さんの話を借りると、北の方の横浜と南の方の三浦半島、これをちょうど繋ぐ緑地であるとのこと。歴史の皮肉なのでしょうけれど、そういった軍の施設があったことによって、今の手付かずに近い自然が残された。ということで、私が個人的に感じましたのは、一つには逗子は軍との絡みで久しく成り立ってきたこと。今も横須賀とアメリカということで関係がある。もう一つは自然環境。たぶん逗子に転入してくる人たちも、住んでいる人たちも逗子の自然環境を気に入っている。池子の森は、逗子の自然環境の要ではないかと感じました。自然活動の指導者を育てる場所となり得るだろうと思いますので、ここを大切に、子どもたちへ自然教育をすることが、まちづくりの中で非常に大きな意味を持つのだろうと感じました。

われわれ検討部会は、毎月1回、合計8回開催しました。事務局がかなり一生懸命やってくれました。市役所の中でも一番と言っていいのかもしれませんが。市民協働がうまくいっているのかなと勝手に感じました。米山次長をはじめ皆さんのご努力でございますが、かなり（通常の）仕事に負荷をかけてしまったということは感じております。たぶんパネル展示の方も、人が足りないときは、事務局の方たちが1階まで出張って、寒い中立ち会ってくれたのだろうと思っていまして感謝、感謝です。検討部会メンバーも事務局も、8か月やっているうちにいいチームワークが取れていて、ある意味楽しくやらせていただきました。一般の委員の方たちにもご協力いただいて、本当にありがとうございました。今回、私自身は手応えを感じて、次に繋げるということが感じられるイベントでありました。以上です。

会 長： ありがとうございます。他に補足等ございますか。

では、ご指名ですので菊池委員をお願いします。

菊池委員： 補足ということではございませんが、11月15日のイベントは、各役員、委員の

皆様のご協力により無事に終了しました。準備にも手をかけましたが、やはりクイズラリーは屋外イベントということで天候ありき。11月半ばの陽気で、風も吹かず、ちょっと暖かい。池子の森自然公園を歩くにはちょうどぴったりの陽気だったことが、一番の成功の要因の一つかと思います。少し紅葉して、公園を散策するには最適の道でしたので、あの日にあそこに来られたクイズラリーの参加者の方は、いい景色、いい状況のときに公園を楽しんでいただけたと思います。素晴らしい場所であるとアンケートでもご感想をいただいています。先ほど石井部会長から話が出ましたが、クイズラリーでは、弾薬を運び込むための線路跡も見ていただき、戦前からどういう歴史があり、どういう影響下でこの町ができていったのかという片鱗を、新しく移住してこられた方かはわかりませんが、池子の森自然公園に初めて来た方もたくさんいらっしゃいましたので、自然の豊かさとその裏にある過去の歴史にも触れていただけたものと思います。その過去があり今の素晴らしい場所がこうして残っているということも、アンケートではコメントをいただいております。

約100人弱の参加者が多かったのか少なかったのか、何とも言えませんが、来ていただいた方に楽しんでいただき、実行委員みんなで考えた狙いについても、ご理解いただいたとわかる感想がありました。イベントをやった意味があったことは間違いのないと思います。

お話しは残念ながら参加できなかったのが様子はわかりませんが、やはり子どもがターゲットということで、集客増員が最後まで非常に大変だったということがございます。この市民協としては初めて市内全域で大きなイベントをやることになりまして、広報告知、集客動員、人を集めるということが大変だったなど、今更にして感じました。来ていただいた方の反応を見ると、やはりもう少しこれは続けなければいけないだろう。続けていくことで、今回来られなかった方や、お友達や兄弟、いろんな人を誘ってきてくれる人たちがいるかもしれませんし、地道ではありますが、池子接收地に関する理解が、市民に対して広がっていく手がかりになるかなという感想を持ちました。本当にご協力ありがとうございました。以上です。

会 長： ありがとうございます。他にご意見等ございませんか。よろしいでしょうか。それでは議題2についてはこれで終了いたします。

続きまして議題3「令和8年度研修会について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局： 只今、令和7年度の報告をさせていただきましたが、今年度はパネル展示、それからお話しとクイズラリーということで、三つほぼ同時に行った形です。先ほどのお話にもありましたが、展示はゼロからのスタートで、事務局としても大変だったというのが正直なところです。お話しとクイズラリーも初めてやるものでしたので、なかなか

かうまくいかなかったところもございます。その中で、来年度はどうしようかというところでして、資料④をご覧ください。途中経過ではありますが、通常の予算、いつもながらの要請活動だとか、そういった部分については基本的には例年通りの予算が付く予定になっております。従って、あとはこの研修会の部分をいかにしようかというところが、今皆さんにお諮りしたい部分です。事務局案としましては、三つ同時に実施するのはなかなか難しいところがございます。皆さんにご協力いただいておりますけれども、やはりクイズラリーの人手がどうしても足りなかったところもございますので、案としまして、来年度についてはクイズラリーを開催することとして提示させていただきたいと思っております。もしくはお話会のみを開催ということも考えておりますが、今の考えとしましては、来年度はクイズラリーをやってみる。その翌年はお話会。そのような形で、お話会プラス展示でもいいですし、同時に全部をやるのではなく、来年度はクイズラリーのみをやるという提案をさせていただければと思います。予算はある程度、通常の部分は固まっております。案1（クイズラリーのみ開催）ということになりますと、需用費消耗品、印刷製本費ということで、保険代等も含めて63,000円を実施できるかなと見込んでおります。予算は今ちょうど審査中ということですので、今日皆さんでお決めいただき、最終的に市としての予算決定ということにしていきたいと考えております。事務局案としては、来年度はクイズラリーのみという形です。以前からご提案いただいているシンポジウムなどは来年度ではなく、また次の目標に向かっていく中で議論していければいいかなと考えております。事務局としては以上です。

会 長： それでは、皆様から何かご意見はございませんか。石井(達)委員、どうぞ。

石井(達)委員： 今回のイベントは非常に良かったので、池子の森のクイズラリーもいいのですが、個人的には、対外的というよりも市民協の中の勉強会のような形で、(講師の)一つは防衛省の人。米山さんが、心当たりがあるというようなことをおっしゃっていて、その場合は謝金はいらないとちょっと聞きましたので、その勉強会みたいなことをできたらやりたいと思います。もう一つは、両角先生のお話が非常に良いお話でしたが、お話会では全体の3分の1も話していないということだったと思いますから、またお話をいただく機会があればいいなと。日本を取り巻く防衛環境はかなり厳しくなっていますし、いろんな環境が変わっている中で、以前、再評価などということを行いましたけれども、これは非常にリスクが高い。(シンポジウムを) やるとしたら周到な準備が必要かなと。私個人はそちらの方向でやりたいのですが、とりあえず来年度はファーストステップとして(防衛省の人を講師とする勉強会を) やって、将来のどこかで、そういうようなこと(シンポジウム) をやりたい。ぜひとも防衛省の人の話、基地の位置付けとか、東アジアの問題、それと基地の関係など。予測は付きま

すけれど、いろいろあるのだらうと思います。対外的には、周到にやらないとかなりリスクが高くなると思いますが、せっかく基地返還の市民協議会にいるわけですから、内輪の研修ということで、できればやりたいと思っています。

それと、今回のイベントのお話会の画像はどこで見られるのでしょうか。

事務局： まず画像というか映像についてですが、11月15日当日、スマイルでの両角先生と山浦先生のお話を、家庭用ビデオで録画しております。今のところまだ公式というわけではなく、このメンバーであればご覧いただいて構わないと先生方からも許可をいただいております。いずれは少し調整をして、市のホームページなどに載せていきたいと思っておりますが、今の段階ではまだこのメンバーの中でという形になっております。今は、私のYouTubeで限定公開という形でやっております、そこにアクセスしていただければ見られる状況になっておりますので、明日か明後日には皆さんにメールでお送りします。そちらをクリックしていただければ、二つともご覧いただけるようになっておりますので、ご興味がありましたらぜひご覧いただきたいと思っております。

石井(達)委員： 当日見られなかった方に、ぜひ見ていただきたい。

会 長： 他にご意見はございませんか。はい、高安委員。

高安委員： 今のお話を伺い、参加者の皆さんに出していただいたアンケートの回答を読ませていただいたら、やっぱりすごく良かったという感想が多いですね。池子の森を見たことがないという方は、市民の方でもかなり多いと感じましたので、大変だったことはわかっているのですが、春にはお話会、秋にはクイズラリー、そんなふうにご考えていただいて、池子の森の中に入る機会をたくさん作っていただくと、池子の森の素晴らしさが本当にわかっていたいただけると思うので、そのようにしていただけたらありがたいと思います。

会 長： はい、ありがとうございます。他にご意見はございませんか。事務局としては、案1のクイズラリーということで話をしておりますが、忌憚のないご意見をいただけたらと思います。予算の関係等々もありますので、皆さんからご意見をいただいた後に、私ども事務局で予算の兼ね合いも踏まえて、決めていきたいと思っております。いかがでしょうか。

石井(達)委員： 今回、かなり事務局に負担がかかったのではないかと感じています。われわれは、基地対策課のベースになるルーティンの仕事を知りませんので、かなり協力的にやってもらったのですが、相当の負荷がかかったのだらうなと推察できますので、バランスをとってやっていきたいと思っております。

会 長： ありがとうございます。他にご意見はありますか。

今、春と秋両方というお話もありました。また両角先生の講演会というご意見があ

りましたけれど、いかがでしょうか。はい、矢野委員どうぞ。

矢野委員： 部会に参加して8か月間やってきました。私も大変だったのですが、市役所の担当の皆さんの大変なご努力をいただきまして、やっと実現したというのが正直な感想です。ただ、これは第1回ですから試行錯誤をしながらやりましたけれど、全て新しいことなので頑張れたなというふうに思っています。2回目以降になると、かえって難しいのではないかなと。1回目はこう、2回目はこうというふうに回を重ねていくには、私達自身の何と言うのでしょうか、取り組みの方向性、それをはっきりさせていきながらやらないと、市民に広がっていくのは、なかなか難しいことだなというふうにも思っております。ですから、長く続けていくには、慎重に取り組んでいくこと、私達自身が高齢にもなっているので、皆さんで知恵を出しながら進めていくのがいいのではないかと思っております。

会 長： ありがとうございます。他にご意見はありませんか。なかなか両方は厳しいと思えますので、案1か案2、どちらかに絞って進めていきたいと思っております。クイズラリーよりお話会の方がよいなど、皆さんのご意見はいかがですか。はい、斎藤(直)委員。

斎藤(直)委員： 本当に職員の方たちにもめちゃくちゃお世話になったと思っております。今矢野さんがおっしゃったように、取り組みの方向性をはっきりさせていかないと、続けていくこと、市民の方達に参加していただくことはちょっと難しいのかなと私も感じています。お話会の方ですが、石井(達)さんが市民協の中の勉強会とおっしゃっていらして、費用がかからない方に来ていただくとしたら、役員会というか、メインに開催する中にもう一つ、そのような勉強会を増やすという方向はあるのかなと。今回この予算案で出さなければいけないので、こういう形で出ているのだと思いますが、まずはちょっと中で勉強しましょうということは、もしかしたら可能なのかなと、お話を聞いて感じました。以上です。

事務局： 中の研修会ということで、先ほどお話のあった防衛省の方はまだ決まりではなく、候補というところですが、どこかのタイミングで一度講師をお呼びして実施をしたいと考えております。すみません、今はどちらかという、今年実施したイベントで、お話会がいいのか、クイズラリーがいいのか、はたまた両方なのかというところをご議論いただければと思っております。

会 長： いかがでしょうか。

菊池委員： 継続について、部会で一緒にやった皆さんはやはりいろんな思いがあって、あれをやりたい、これもやりたいという気持ちがあります。継続することについてご支持のご意見をいただいたこと、感謝いたします。なかなかこの大勢で結論を見出すのは非常に難しいということと、事務局サイドでは、防衛省を呼んでの話(中の研修会)

が一つあって、(来年度の市民向けイベントへの)提案として、クイズラリーはどうかと。石井(達)さんは、研修会に対して思いが強いところもおありでしょうし。あとはお金の問題と、マンパワーの問題がやはり非常にあります。同じ日だったから大変だったのかということだけではなく、やはりクイズラリーは広い場所でやるので、ある程度、体の動ける世代の方のお手伝いが必要になります。商工会長を通じての青年部ですとか青年会議所の若手の人に、1団体から2人、3人と来てもらって何とか回せたところもありますので、これはちょっとこの場で決めづらい。もう一度、今回の部会で集まった人達にお預けいただいて、どこまでできるか。ちょっと先になってしまいうでしょうけど、検討してお返事をするという方向ではまずいですか。

会 長： 時間的に難しいですので、事務局案でとりあえず皆様のご了解をいただければ、案1の予算で進めていって、当然、多少の変更は可能です。

菊池委員： 事務局提案のクイズラリーだけご承認いただいて、お話会の方は、講師の謝礼がこの市民協の厳しい予算ではなかなか大変なので、予算査定後にもう一度検討してみる。予算も含めて、今年は逗子市PTA連絡協議会さんから多分に物心両面のご協力もありましたし、来年やるに当たってもその辺のご協力を得て、お話会を何回かやるにも懐具合の問題もありますので、案1がクイズラリー、案2のお話会はお金のやり繰りが付けばということで、お金も含めて考えるのでは駄目ですかね。予算的な裏付けがなければいけないし、今のところの予算では、市の補助金で回っている組織としてはちょっと厳しいですね。ということもあり、毎年ある程度大きなことをやるのはなかなか大変だというのは、やってみて気が付いたところですから、やはり続けていく前提でご承認いただきたいなど。クイズラリーで申し訳ないのですけれど、研修会も内部と外部のお話会を踏まえて、次はどうか。来年やるのか、再来年にもう一度、煮詰めてやるのか。ちょっと部会としても詰め不足でもありますよね。あまりそこまで話せていないので、来年に限らず、再来年にまたやりたいということがありますから、1番はクイズラリー、2番は予算を掲げてのお話会というのではいかがですか。事務局が差し支えなければ、そのくらいの決定だけいただいて、それ以外のところは、もう一度部会に委ねていただくのはいかがですか。

会 長： 皆さんがよろしければ、今のところ第1案で考えていきたいと思います。よろしいでしょうか。皆様からいろいろなお意見をいただきましたので、その辺も踏まえて、前回の役員会で承認いただいた令和8年予算要求額の修正等についても、私と事務局に一任していただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

会 長： それでは、そのように進めさせていただきたいと思います。令和8年度の研修会については以上とさせていただきます。

次に議題3「その他」といたしまして事務局から何かございますか。

事務局： 繰り返しとなりますが、要請活動の日程が決まりましたら、また改めてお知らせいたしますので、よろしくお願ひします。以上です。

会 長： 皆様から他に何かございますか。よろしいでしょうか。

特になければ本日の会議はこれにて終了いたします。ありがとうございました。

—以 上—